

今後検討が必要な水域について

1. 河川類型から湖沼類型への見直しが必要な水域

水系名	河川名	名称	所在地	総貯水容量 (千 m^3)	有効貯水容量 (千 m^3)	ダム 管理者	運用 開始 年月	環境 基準 類型	現在の類型区分
紀の川水系	紀の川	大滝ダム	奈良県	84,000	76,000	国土交通省	H25.4	河川AA	紀の川(1)
木曾川水系	揖斐川	徳山ダム	岐阜県	660,000	380,400	水資源機構	H20.5	河川AA	揖斐川(1)

(ダム基本情報)

大滝ダム	
河川	紀の川水系紀の川
所在地	奈良県吉野郡
目的/型式	洪水調節・不特定・上水・工水・発電/重力式コンクリート
堤高/堤頂長/堤体積	100m/315m/1034千 m^3
流域面積/湛水面積	258 km^2 (全て直接流域) /251ha
総貯水容量/有効貯水容量	84,000千 m^3 /76,000千 m^3
ダム事業者	近畿地方整備局
着手/運用開始年月	1962/2013.4
ダム湖名	おおたき龍神湖 (おおたきりゅうじんこ)
備考	—

徳山ダム	
河川	木曾川水系揖斐川
所在地	岐阜県揖斐郡
目的/型式	洪水調節・不特定・上水・工水・発電/ロックフィル
堤高/堤頂長/堤体積	161m/427.1m/13,700千 m^3
流域面積/湛水面積	254.5 km^2 (全て直接流域) /1,300ha
総貯水容量/有効貯水容量	660,000千 m^3 /380,400千 m^3
ダム事業者	中部地方建設局→水資源機構
着手/運用開始年月	1971/2008.5
ダム湖名	徳山湖 (とくやまこ)
備考	—

2. 暫定目標が設定されておりその見直しが必要な水域

水系名	河川名	名称	所在地	総貯水容量 (千m ³)	有効貯水容量 (千m ³)	ダム 管理者	環境 基準 類型	暫定目標		備考
								年度	項目	
利根川水系	渡良瀬川	渡良瀬貯水池 (谷中湖)	茨城県	26,400	26,400	国土交通省	湖沼AⅢ	H29	COD T-N T-P	今回の見直し対象
荒川水系	荒川	荒川貯水池 (彩湖)	埼玉県	11,100	10,600	国土交通省	湖沼AⅢ (窒素除く)	H29	COD	今回の見直し対象
相模川水系	相模川	相模ダム貯水池 (相模湖)	神奈川県	63,200	48,200	神奈川県	湖沼AⅡ	H32	T-N T-P	※
相模川水系	相模川	城山ダム貯水池 (津久井湖)	神奈川県	62,300	54,700	神奈川県	湖沼AⅡ	H32	T-N T-P	※
江の川水系	江の川	土師ダム貯水池 (八千代湖)	広島県	47,300	41,100	国土交通省	湖沼AⅡ	H32	T-N T-P	※

※相模ダム貯水池等について見直しを行った「水質汚濁に係る生活環境の保全に関する環境基準の水域類型の指定の見直しについて」（中央環境審議会答申 H27.12）に以下のとおり記載されており、平成32年度が目標年度とされた暫定目標の見直しに向けた検討が必要である。

なお、現在見込み得る対策を行ったとしても、自然由来の発生負荷量の影響により、環境基準の達成が非常に困難な湖沼については、環境基準の類型指定や暫定目標等の取扱いについて、今後の検討が必要である。

3. 今後のスケジュール（案）

（平成 29 年度）

○渡良瀬貯水池（谷中湖）及び荒川貯水池（彩湖）の暫定目標値の見直し

- ・専門員会報告取りまとめ
- ・パブリックコメント
- ・水環境部会へ報告
- ・中央環境審議会答申
- ・告示改正

（平成 30 年度）

○大滝ダム貯水池（おおたき龍神湖）、徳山ダム貯水池（徳山湖）の情報整理

○自然由来の発生負荷量の影響により環境基準の達成が非常に困難な湖沼についての調査・検討

（平成 31 年度）

○大滝ダム貯水池（おおたき龍神湖）、徳山ダム貯水池（徳山湖）の河川類型から湖沼類型への類型指定の見直し

○自然由来の発生負荷量の影響により環境基準の達成が非常に困難な湖沼についての調査・検討

（平成 32 年度）

○相模ダム貯水池（相模湖）、城山ダム貯水池（津久井湖）、土師ダム貯水池（八千代湖）の暫定目標値の見直し

（平成 34 年度）

○渡良瀬貯水池（谷中湖）及び荒川貯水池（彩湖）の暫定目標値の見直し